※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 102 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 「高等学校　古典探究」（数研出版）<br>「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店）<br>「読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版」（数研出版）<br>「リテラ　古文２」（文英堂）<br>「Key&Point みるみる古文単語３００＋敬語３０」（いいずな書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・伝統的な言語、文化に対する関心を持ち、古典を学習する意義を考えましょう。
・１年生で学んだ基礎的な文法や漢文の知識を用いて、有名な古文や漢文を読みます。
・有名な古文や漢文の作品に親しむことで、豊かな感性と心情を理解しましょう。
・予習、復習は必ず行い、提出物の期限を守りましょう。
・小テスト、定期テストは学習計画をたてて臨んでください。

## ２　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典を読むことに役立つ、基本的な知識を身につけている。
・言語感覚を磨き、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけるとともに、文学作品の読解を通して、文化への理解を深めることができている。 | 「読むこと」の領域において、言語感覚を磨き、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方,感じ方,考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 文学作品を通して自分の考えを持ち、伝統的な言語文化に対する関心を深めながら、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学 | 随筆を読む①<br>［教材］<br>『枕草子』<br>「すさまじきもの」<br>「大納言殿参り給ひて」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現や伝統的な文化などについて理解している。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している<br>c：文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉えようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 振り返りシート |
| | 物語を読む<br>［教材］<br>『源氏物語』<br>「光源氏誕生」<br>「小柴垣のもと」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現や伝統的な文化などについて理解している。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>c：登場人物の行動や心情をとらえ、そこから浮かび上がる人物像について考察し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 振り返りシート |
| | 漢詩を読む<br>［教材］<br>「鹿柴」王維<br>「山中対酌」李白<br>「江南春」杜牧<br>「旅夜書懐」杜甫<br>など | a：基本的な漢詩の形式、修辞や音韻の知識を身につけている。<br>b[読]：それぞれの漢詩の情景や感情を正確に読みとり、豊かな心情を理解できる。<br>c：漢詩のリズム・構成に注目し描かれている情景や心情を積極的に理解しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | パフォーマンス課題<br>定期考査 | 振り返りシート |
| 二学期 | 日記文学を読む<br>［教材］<br>『更級日記』<br>「東路の道の果て」<br>「物語」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現や伝統的な文化などについて理解している。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c当時の文化的背景を理解し、作者の心情を積極的に理解しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 振り返りシート |
| | 史伝を読む<br>［教材］<br>『史記』<br>「鴻門之会」<br>「四面楚歌」 | a：漢文を読むことに役立つ訓読のきまりや、当時の文化的背景を理解している。<br>b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c：漢文特有の表現を味わい、歴史的な事実をふまえながら「項羽」と「劉邦」の人物像の違いについて積極的に考察しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 俳諧を読む<br>［教材］<br>江戸俳諧・発句 | a：俳諧、発句における言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b[読]古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。<br>c：学習課題に沿って、粘り強く各句のおもしろみや味わいを考察し、自分の考えを深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | パフォーマンス課題<br>定期考査 | 振り返りシート |
| 三学期 | 歴史物語を読む<br>［教材］<br>『大鏡』<br>「花山天皇の出家」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現や伝統的な文化などについて理解している。<br>b[読]：当時の時代背景をふまえたうえで、構成や文章の叙述を的確に捉え、登場人物の心情の理解を深めている。<br>c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査 | 振り返りシート |
| | 随筆を読む②<br>［教材］<br>『方丈記』<br>「養和の飢饉」 | a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現や伝統的な文化などについて理解している。<br>b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。<br>c『方丈記』の教科書掲出箇所以外について積極的に読み、学習課題に沿って考察に取り組もうとしている。： | 定期考査<br>小テスト | パフォーマンス課題<br>定期考査 | 振り返りシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間